

あゆみ

J C H O
二本松病院

二本松市成田町1-553
TEL.0243-23-1231
FAX.0243-23-5086
http://nihonmatsu.jcho.go.jp
発行者: あゆみ編集委員会

合同講演会を開催しました

7月2日に令和元年、第1回目の合同講演会を開催しました。

医療安全管理室、医薬品情報室、院内感染対策室それぞれ、全職員対象の講演会です。当日の講演会、参加者は88名でした。他に、ビデオでの集合研修も行い224名の参加があり、97.5%と以前よりも多くの皆さんに参加いただきました。

医療安全管理室からは小さな改善の積み重ねとして院内ラウンドについて、医薬品情報室からは、医療用麻薬の取り扱いについて、院内感染対

策室からは、多剤耐性緑膿菌(MDRP)の感染対策と手指衛生について講演を行いました。講演会では、全職員に伝えたいことをまとめることが大変ではありますが毎回、熱意をもって資料を作成しています。みなさんに参加していただき、より良い講演会が行えるよう今後も精進したいと思います。

院内感染対策室 齋藤 宏子

講演会題目とパネル

◆医療安全管理室◆

院内ラウンドについて

西塚 吹子

◆医薬品情報室◆

医療用麻薬の取り扱いについて

齋藤 潤

◆院内感染対策室◆

多剤耐性緑膿菌(MDRP)の感染対策と手指衛生について

齋藤 宏子

安全は
「小さな改善」の
積み重ね

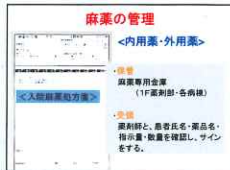


令和元年7月2日
医療安全管理室
西塚吹子



医療用麻薬の取り扱いについて

2019年7月2日(火)
JCHO二本松病院
麻薬管理者 齋藤 潤



知っていますか?
多剤耐性緑膿菌(MDRP)

院内感染対策室: 齋藤 宏子
令和元年7月2日

多剤耐性緑膿菌(MDRP)

通常、緑膿菌はカルバペナム系、アミノグリコシド系、キノロン系に感受性を示すが、それらに耐性をもった緑膿菌がいます。



人工物の挿入、器具には要注意

広域抗菌薬の使用による、常在細菌叢の乱れ、免疫力の低下など、いくつかの条件が揃うと体内に緑膿菌が侵入することになる。
カテーテルや、気管内チューブなど生体内に人工物は、緑膿菌が生息しやすい環境を提供することになる。



実習生の受け入れ

6月25日から7月12日まで福島看護専門学校
の看護学生3年生4名が実習を行いました。

感染看護認定の講義を受け、手指消毒の大切さや各部署の業務説明をうけながら施設内を見学しました。実習中は急性期から回復期にある患者様を受け持たせていただき、看護師と共に病状の観察や身の回りのケアを行いました。急性期の患者様と直に接する中で、その病態や疾病に伴う苦痛や不安、社会復帰に向けた支援等についての看護師としての在り方、必要な視点や技術を学ぶことができました。実習期間中、温かくご協力頂きました患者様・ご家族の皆さま貴重な学びができました事、心より感謝いたします。

3階病棟看護師 佐藤 陽子



5月27日から3日間、福島介護福祉専門学校の
1年生2名が、老健施設の通所リハビリテーショ
ンで実習を行いました。

初めての实習ということで、とても緊張していた様子でしたが、利用者さんからのあたたかい声掛けのおかげでスムーズな実習を行なうことができました。緊張していた学生達からも利用者さんに声を掛けたり、一緒に体を動かしたりしながら、短い期間の実習を行いました。実習後は各自が目指す介護福祉士の仕事に就きたいと、強く思うようになったという声が聞かれました。今回の実習の経験を次回の実習につなげていける事を期待します。利用者みなさん、関係職員みなさんご協力ありがとうございました。

老健 介護福祉士 渡辺 ゆき



中学生の職場体験(6月27日、28日)

二本松第一中学校の職場体験学習が行われました。

1日目は各部署を見学し、少し緊張気味ではありましたが真剣な表情で説明を聞きながら積極的に質問する姿が見られました。また、附属老人保健施設にて感染管理室の斎藤副師長による手洗いの講義を聞き、手洗いの重要性について学びました。午後には患者さんの気持ちを理解する為にエアーマットに臥床し体位交換やリネン交換を行い、「患者さんのために色々な気遣いをしていることが分かった。」等の言葉が聞かれました。

2日目は車椅子やストレッチャーでの移動体験を行い、「患者さんと看護師さんの双方の気持ちになれた。」等の感想も聞かれました。また、入院中の患者さんの手浴を行い、患者さんと触れ合いながらコミュニケーションをとる事ができました。患者さんから「気持ち良かった～。曾孫と同じだもの！」との言葉をいただき、学生さんからは「喜んでもらえて嬉しかった。」と感想が聞かれました。また、職場体験を終えて「二日間の経験を将来に活かして生きたい。」等の言葉も聞かれ、充実した職場体験となりました。

ご協力いただいた患者様や各部署の皆さんに御礼申し上げます。



臨地実習指導者会 日向 里香

二本松第一中学校2年生4名が老健の職場体験を行いました。

始めに施設内の説明を受け、職員からの話を聞きながら車椅子移動体験やレクリエーションを一緒に行いました。介護職員だけではなく様々な職種の職員が一丸となり、利用者さんに関わり連携していることを学び取れたようでした。「車椅子体験では、実際に座ってみて利用者さんの気持ちがわかりました。」「利用者さんとのレクリエーションは楽しかった。またやりたい。」と感想が聞かれ、私達職員に対しても「職員みなさんが明るい、心が優しい人達が集まっている。」との声もあり嬉しくなりました。今後の学生達の進路実現に向け、何かお役に立てれば良いと思いました。



イベント食/吉野家の牛丼

老健 介護福祉士 渡辺 ゆき

高校生一日看護体験

笑顔いっぱいの素敵な高校生は、院内の各部署見学や血圧測定・車椅子介助・患者さんの手浴等の看護体験を行いました。体験後学生からは「手浴の後患者さんからありがとうと言われて嬉しかった。」「車椅子体験では、介助されている患者さんの気持ちや、看護師さんの思いがわかりました。」などの声が聞かれ私たちも嬉し

7月22日(月)看護協会主催の高校生一日看護体験が行われ、県北地方の高校生4名が参加してくれました。

かったです。施設見学では他職種の職員が働いている様子も見ていただき、医療職を身近に感じられたのではないかと思います。今回の学生が私たちと共により良い医療を目指せることを心待ちにしています。

この体験を通して私たちは地域の方々のために努力していくことの大切さを再認識しました。今後も地域の

方々と協力し合いながら成長していきたいと思えます。ご協力いただきました患者様や各部署の皆様感謝申し上げます。

臨地実習指導者会 看護師
伊藤 悦子



転倒予防教室を行いました

7月20日(土)に転倒予防教室を行いました。今回はボールを使用した座位・立位バランスの体操を中心に実施しました。道具を使うことでより運動を楽しく行うことができ、参加者の方々も笑顔を見せながら取り組むことができました。参加された方からは、「1人で運動するより皆で運動したほうが楽しくできる。」「自分ではどういう運動をすればよいか分からなかったなので、参考にしたい。」というお声も頂きました。

また、日頃の運動に対する悩みを相談する機会に

もなり、日常でどのような場面で気をつければよいか、参加者同士でも情報交換をし合い、考える事ができました。転倒予防教室は年2回実施しておりますが、参加者が減少している状況です。1人でも多くの方に参加していただけるよう積極的に取り組みたいと思います。

次回の開催は11月を予定しています。気になる方がいらっしゃったら、病院2階リハビリ室、または老健1階事務室に気軽にお声かけください。

理学療法士 丹野 萌



栄養管理室では、患者さんに行事食を提供しています。

七夕に提供した行事食を紹介します。栄養管理室では、「安心・安全」な食事を心がけて、栄養管理と調理を行っております。

七夕



- ・七夕そうめん
- ・天ぷら
- ・夏野菜の煮物
- ・すいか

編集
後記

熱く戦った高校野球大会のころは連日暑さの戦いでもありましたが、お盆を過ぎた頃からは朝晩涼しく感じてきましたね。おかげで夜もぐっすり眠れるようになり、「そうめん」の食欲から「ガッツリ」の食欲を迎え、またおなか周りがポッチャツと気になります。

Y・M記